

※金額は1世帯あたりの目安額です。

各会費・募金のつかいみち

社会福祉協議会会費:500円



元気はつらつ教室

【取り組み・事業】

- ・地域サロン担い手を対象とした感染症対策講座
- ・非接触型体温計の貸出
- ・在宅時の健康維持を目的とした広報誌「紫藤」の発行
- ・新型コロナウイルスの影響による特例貸付・・・など

社会福祉協議会の運営や地域福祉の推進のための活動に使われています。子どもからお年寄りまで誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう健康づくりや訪問活動などをおこなっています。コロナ禍では地域活動の復旧や感染症対策を取り入れた対策事業に取り組んでいます。



貸出用非接触型体温計

高根沢町愛の基金:200円



地域の居場所(サロン)活動

【取り組み・事業】

- ・地域の居場所（サロン）の設置
- ・学校支援ボランティアの保険登録
- ・朗読ボランティアと連携した、広報朗読テープ配布事業
- ・安心見守り牛乳事業
- ・月2回の心配事相談所の開設
- ・・・など

愛の基金は高根沢町独自の基金です。町内の高齢者の見守り事業やボランティア活動の補助に使われています。

また、地域交流が円滑に進むように地域の居場所といった集いの場支援にも活用されています。



中学生によるボランティア活動

日本赤十字社会費:500円



災害対応訓練での炊き出し

【平時の備え】

- ・救援物資の備蓄
- ・災害救護訓練
- ・赤十字奉仕団による炊き出し訓練・・・など



災害救護品

【災害の対応】

- ・救護物資の配付
- ・義援金救援金の受付
- ・医療救護
- ・ボランティアによる炊き出し
- ・血液製剤の供給
- ・・・など

【未来へつなげる】

- ・地域防災力の向上
- ・救急法などの命を守る技術の普及
- ・こどもたちへの防災教育
- ・・・など

日本赤十字社は新型コロナウイルスへの取り組みをはじめ、台風や地震などの災害に備える活動を行っています。

この活動の基盤となるのが、国や県の補助に頼ることなく、地域の皆様からの寄付を唯一の財源としています。

「救うことを、つづける」ため、皆様のご協力をお願いいたします。

赤い羽根共同募金:600円



地域のイベント活動の支援

【取り組み・事業】

- ・地域活動助成事業など、地域行事・活動を応援する仕組み
- ・町内中高生を対象とした、夏休みの学生ボランティア体験
- ・災害ボランティア講座
- ・子供と高齢者の交流事業
- ・フードバンク、フードドライブ事業など生活困窮支援
- ・・・など

赤い羽根共同募金は、集まった募金の約6割は高根沢町のために使われており、残りの約4割は栃木県内の福祉や災害時など緊急時に活用されています。

地域で集まった募金でより地域が元気になるよう、専門的な分野への支援だけでなく、自治会など住民が活用できる仕組みに取り組んでいます。



フードバンクの立ち上げ